

都城北諸ブロック研修会アンケート結果

研修会テーマ:

「大規模災害リハビリテーション研修会」

開催場所 : 都城ロイヤルホテル

日時 : 平成28年9月9日(金)

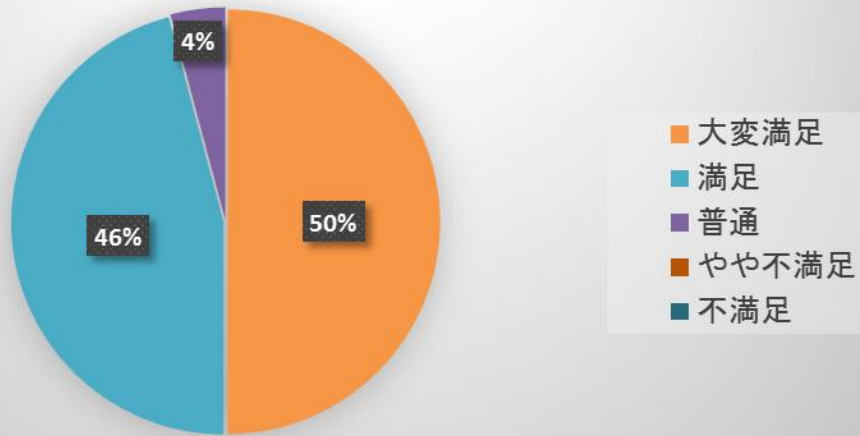
18:30~20:00

参加人数 : 31名

アンケート回収率:81%(25/31)

年齢	20代	30代	40代		
	19	5	1		
性別	男性	女性			
	9	16			
主な対象領域	老年期	身障	精神	発達	地域
	5	15	4	1	1
経験年数	1~5年	5~10年	11~15年	16年以上	
	19	5	0	1	

研修会の内容について



～意見・感想～

- 日本全国で地震のニュースも多く、南海トラフの事も話題になっている中で、私たちはどのように動くことができるのか。体験も話してもらってより分かりやすかったです。
- JRATの活動は身近なものではなかった為、貴重な報告をきくことができました。今後、もしものことを考えてOTとしてできることを考えておく必要があると感じました。
- 南海トラフ地震の可能性を含めて都城は盆地であるため、被災された方への避難所になることが予想される。地域の作業療法士として協力を求められることもあると思うので、今回のJRATの講習会は大変参考になりました。
- JRATの具体的な活動内容を知ることが出来ました。
- JRATの活動についてわからないことが多かったので今回改めてたくさんのことを学びました。（ストレスが多いことやケアなど）
- 実体験を分かりやすく話されていて勉強になりました。
- JRATに参加された先生方の活動や被災状況を知ることが出来ました。
- 震災から5ヶ月経って、早くも人々の関心も薄れているような気がします。定期的に啓発啓蒙する必要があると思いました。
- OTはみんな真面目なので「何かやらなきゃ！ツメ跡残さなきゃ！」となりがちだと思いますが、共助、自助に向けての関わりが大事と勉強になりました。
- 何もできなかったと感じても確実に次のスタッフの方々、被災者の生活の快適さにつながっていたと感じた。
- タイムスケジュールの中で活動をされていることに驚きました。他県の支援者が入ることの良い点なども聞くことができよかったです。
- 時期によって行った関わり方が違ったことも分かり良かったです。
- 今回の勉強会を聞いたことで、これまでイメージできなかったJRATとしての活動を知れてとても勉強になりました。スクリーニングの視点や環境整備で注意する点、現地スタッフとのやりとりで気をつける点などを学べてとても実りのある時間となりました。
- 開始時間が早く感じました（業務後の為時間通りに来るのが大変だと思いました）
- 各陣により、活動内容の違いや環境の違いを知れどの時期に何を必要としているのか分かりました。
- OTとしてできること、1人の人間としてできることを考えることが出来ました。
- 被災地の方への支援がどれほど大変だったのかわかったような気がします。機会があれば支援の方に参加させていただきたいとおもいました。

今後、取り上げてもらいたい勉強会のテーマについてご意見がありましたらお書きください。

- 脳卒中ガイドラインに基づいた作業療法の可能性
- MTDLPの活用（各分野）、具体的な支援内容
- 地域包括ケアシステムでの作業療法士の役割、求められるもの
- 各作業活動における作業分析、対象など
- 重度麻痺におけるリハビリテーション
- 重度上肢麻痺におけるリハビリテーション（最新知見も含め）
- 就労支援
- 認知症
- 宮崎県内、都城市内で発災した際に支援が必要な方々（高齢者、障がい者、子供）について各々に求められる対応
- 都城市の発達支援の現状
- 都城市の就労支援の現状
- 災害リハに関してだったら避難所の確認やリハの動き必要なものの確認とかでしょうか・・・。